

お知らせ

2016.08.23



©Wim Vanmaele

第20回「ブリュッセル・フラワーカーペット」が ベルギー・ブリュッセルで開催

2年に一度行われるブリュッセル・フラワーカーペットが、8月12日から15日、ベルギーの首都・ブリュッセルにある世界遺産グランブラスで日・ベルギー友好150周年にあわせて日本をテーマに開催されました。フラワーカーペットの今回のテーマは「花鳥風月」。日本人初デザインを担当した乃村工藝社・鈴木不二絵デザイナー（実施設計：Marc Schautteet）も現地のイベントに出席しました。ブリュッセル市によると、わずか4日間の開催期間中、約10万人近い来場者がフラワーカーペットを見にグランブラスを訪れ、友好150周年にふさわしい華やかなイベントとなりました。

12日の朝5時から100名のボランティアが作業に協力し約8時間かけてフラワーカーペットを完成させました。夜は、ベルギーの音楽家Grégoire Duneが全体音楽演出を監督し、カーペットを彩る音と光のショーとともに花火が打ち上げられ、観衆からの歓声と絶え間ない拍手が最高潮に達しました。

今回のフラワーカーペットはメディアからの注目度も非常に高く、鈴木もベルギー現地メディアを始め、欧州、アメリカ、中国、日本など、世界中から数多くの取材を受け、開催期間中に100媒体以上に掲載されました。

■関連リンク：

当社リリース 乃村工藝社・鈴木不二絵が第20回「ブリュッセル・フラワーカーペット」デザインを担当

<http://goo.gl/2l9afY>

ブリュッセル・フラワーカーペット公式ホームページ

<http://www.flowercarpet.be/en>

在ベルギー日本国大使館

http://www.be.emb-japan.go.jp/japanese/archives_j/lfb_040.html

株式会社 **乃村工藝社**

■第 20 回「ブリュッセル・フラワーカーペット」について知るべき 5 つのこと：

1. フラワーカーペットは約 60 万本のペゴニアで埋めつくされ、他にもダリア、芝生、樹皮なども使用されました。
2. フラワーカーペットの広さは約 1,800 平米です。
3. 日本人を始め、ペゴニア農家、現地の住民など、約 100 名のボランティアが約 8 時間かけて、共同作業でフラワーカーペットを作り上げました。
4. テーマ「花鳥風月」は鈴木不二絵によるデザイン。作品の中に美しい動植物や美しい風景など、自然に存在する美しいものたちを表現し、またそれらを愛し、重んじることを意味しています。
5. 今回のフラワーカーペットは「日本・ベルギー友好 150 周年」を記念し、ベルギーと日本のさらなる深い友好的なつながりと、今後の両国のよき未来を願い、描き下ろしました。

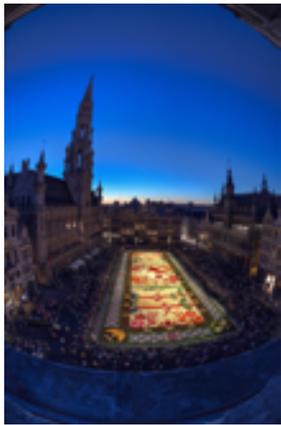
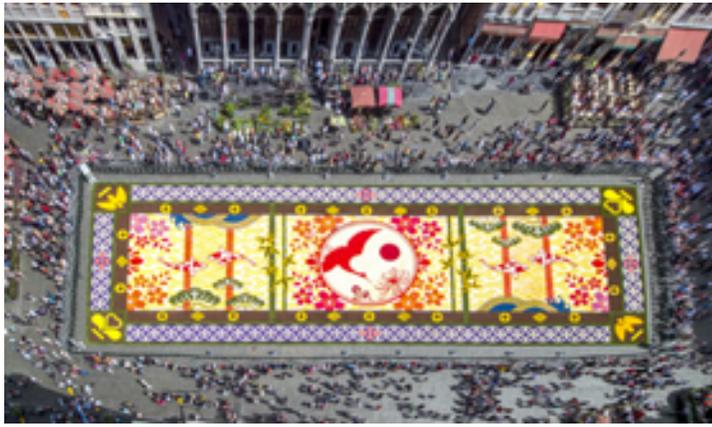
■フラワーカーペットの制作過程



©Wim Vanmaele

株式会社 乃村工藝社

北京・上海・成都・香港・シンガポール・ミラノ・ニューヨーク



鈴木不二絵とボランティア達

(右から)鈴木不二絵とフラワーカーペットのディレクター クーン氏、デザイナー マーク氏

©Wim Vanmaele

株式会社 乃村工藝社

北京・上海・成都・香港・シンガポール・ミラノ・ニューヨーク